

吸収冷温水発生機保守点検委託 仕様書

1 概 要

本委託は、神奈川県立産業技術総合研究所において、「労働安全衛生法」及び「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」等に準拠した執務環境を確保するために行う保守委託であり、冷房及び暖房運転の各期間に合わせ、吸収冷温水発生機のシーズンイン点検及びシーズンオン点検等を実施することにより、良好な運転状態の保全と設備の延命化を図るものである。

又、経年変化に対応し熱効率の向上を図るため冷却水系のチューブ清掃、定期交換部品の交換及び補修等を行う。

なお、業務は、本仕様書及び「建築設備等保守・点検業務共通仕様書（産業技術総合研究所 平成29年4月）」、並びに「建築保全業務共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）」平成30年度版に基づき行うものとする。

2 委託件名

吸収冷温水発生機保守点検委託

3 委託期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

4 委託場所

海老名市下今泉705の1 神奈川県立産業技術総合研究所地内

5 委託範囲

- (1) 吸収冷温水発生機・冷却塔のシーズンイン点検
- (2) 吸収冷温水発生機・冷却塔のシーズンオン点検
- (3) 吸収冷温水発生機のシーズンオフ点検
- (4) 吸収冷温水発生機のチューブ清掃
- (5) インヒビター分析
- (6) 吸収冷温水発生機不具合時の対応

6 業務条件

- (1) 業務は、土曜日、日曜日、祝日、国民の休日等の休祭日及び12月29日から翌年の1月3日を除く午前8時30分から午後5時15分までの間に行うこと。

但し、故障対応等はこの限りではない。

- (2) 自動車を使用して物品及び廃棄物等を運搬する場合は、低公害車（神奈川県生活環境の保全等に関する条例（平成9年神奈川県条例第35号）第86条の2第4号に規定する「低公害車」をいう。）の使用及びエコドライブを実施しなければならない。

7 対象機器

(1) ガス吸収式冷温水発生機（30%省エネルギー型）	(RH-1, RH-3)	2 基
形式：GLB-350E	製造者：川重冷熱工業(株)	
能力：冷房最大	1,058,000kcal/h (1230.45kW)	
暖房最大	900,000kcal/h (1046.7kW)	
燃焼ガス種類：13A中圧		
電源：3 φ 200V 50Hz	容量：電動機合計出力 5.7kW	
伝熱面積：5.7m ²		
付属品：感震器、防震スプリングパット、耐震ストッパー、		1 式

(2) ガス吸収式冷温水発生機 (RH-2)	1 基
形式：NEG-360AN5A 製造者：川重冷熱工業(株)	
能力：冷房最大 1,230kW 暖房最大 1,047 kW	
燃焼ガス種類：13A中圧	
電源：3φ200V 50Hz 容量：電動機合計出力 7.3kW	
高温再生器伝熱面積：25.9m ²	
(3) 制御盤（屋内自立形）ほか付帯設備	1式
(4) 冷却塔 (CT-1, CT-2, CT-3)	3 台
型式：HT-355MQA-LE	
冷却能力：1908000kcal/H 水量：6000L/H	
入口水温：37.3℃ 出口水温：32.0℃	
気湿球温度：27.0℃	
電動機：5.5kW×14P×2 set 電源：3φ200V 50Hz	

8 点検業務内容

業務は、前述の官庁営繕技術基準「建築保全業務共通仕様書 平成30年度版」第2編、第4章、第3節、4.3.5「吸収冷温水機」に基づく点検、製造メーカーが推奨する点検のほか、次の業務を行う。

点検項目	頻度
(1) シーズンイン点検（冷房時暖房時各1回）	(2/Y)
ア 切替運転準備作業（設備側の準備確認チェック等）	
イ 本体冷房切替弁の切替	
ウ 運転盤スイッチの切替	
エ 燃焼室内の点検を行う。	
（ア） 焼損及び燃焼ガスのリークの有無を点検する。	
（イ） 耐火材の亀裂、脱落等の有無を点検する。	
（ウ） 燃焼室内部の腐食及び汚れの有無を点検する。	
（エ） 燃焼ガス出口部の腐食の有無を確認する。	
オ 熱交換機の点検を行う。	
（ア） 伝熱管のスケール付着の有無を点検する。	
（イ） 伝熱管の腐食の有無を点検する。	
（ウ） 水室の汚れ及び腐食の有無を点検する。	
カ バーナー部の次の点検を行う。	
（ア） ヘッド部の損傷及び変形の有無を点検する。	
（イ） ノズルを取り外し、洗浄油又はシンナーで清掃する。	
(2) シーズンオン点検（冷房時暖房時各1回）	(2/Y)
(3) シーズンオフ点検	(1 Y)
(4) 冷却水系チューブ清掃	(1 Y)
ア ヘッドの開閉	
イ 伝熱管、ヘッド、管板の点検	
ウ 伝熱管ブラッシング	
エ パッキンの取替	
オ ヘッド及び管板のサビ落とし、並びに内面の耐水性防錆塗装（冷水ヘッドの保温材が再使用出来ない場合は別途）	
(5) インヒビターの分析	(1 Y)
暖房シーズン中にインヒビターの分析を行う。	
(6) 吸収冷温水発生機不具合時の対応	
当該設備に重大な不具合が発生した場合は、時間外であっても緊急呼出	
なお、修理に要する部品等は、原則発注者負担とするが、点検時に交換	
(7) 月別点検項目及び点検対象機は、別紙－1のとおりとする。	
(8) 冷却塔点検（シーズンイン）	(2/Y)
本体、付帯設備、架台、はしご、基礎等点検	
水槽（本体、給水装置、ストレーナ等）の点検	
送風機（モータ、羽根車、軸受、ベルト、プーリ等）	
試運転調整	

9 別契約の関連委託業務（参考）

- (1) 設備等運転管理業務委託
当該設備の運転・監視及び日常点検業務
- (2) 空調用水処理装置等保守点検委託
冷却水水質の保持及び水質検査
- (3) 自動制御設備監視設備保守点検委託
運転・監視装置の点検・保守

10 その他

- (1) 業務は、設備等管理業務を受託している運転・監視員と連絡を密にして行うこと。
- (2) 吸収冷温水発生機室内には、夏季冷房用として、チリングユニット（150RT神戸製鋼所製）が設置されている。RH-3と配管を共有しているため、十分注意を払い業務を行うこと。
- (3) 作業報告書は、作業工程毎の写真を添付した上、係員へ提出すること。
- (4) 業務を行う上で疑義が生じた場合は、係員と協議の上、決定する。

以上

別紙ー1

実施月 点検項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
冷房シーズンイン点検 (切替えを含む)	RH-1		○										
	RH-2		○										
	RH-3		○										
冷房シーズンオン点検	RH-1					○							
	RH-2					○							
	RH-3					○							
インヒビター分析	RH-1										○		
	RH-2										○		
	RH-3										○		
チューブ清掃	RH-1							○					
	RH-2							○					
	RH-3							○					
暖房シーズンイン点検 (切替えを含む) ※	RH-1							○					
	RH-2							○					
	RH-3							○					
暖房シーズンオン点検	RH-1										○		
	RH-2										○		
	RH-3										○		
シーズンオフ点検	RH-1		○										
	RH-2		○										
	RH-3		○										

※ 10月最終週を目安とする